

◆ 在校生アンケート「入学を決めた理由」

受験生の皆さんに参考となる在校生の本音を聞きました。最後に入学を決めた理由は何？

平成28年度
在校生(1年生)321名
調査

その他(兄弟が在学、滑り止めなど) 3.9%

出身中学校の先輩が活躍していた 0.6%

スクールバスルートにあった 1.6%

先輩や先生方の印象が良い 1.9%

学校説明会に参加して決めた 2.8%

親からの
薦め 5.3%

入学特典
・学費 6.9%

中学校の
先生からの薦め 7.5%

家から近いから 9.7%

希望する
部活動があった 16.8%

希望する
学科・コースが
あった 43.0%

特色と専門性のある
学科で選ばれています。

私たち、
こんな理由で入学を
決めました!

「ひとりひとりを大切に」
を合言葉に、先生たちが
全力でサポートします!

全国レベルの強豪部
があります。

中学校の先生や
保護者の方の薦めで
決める場合も。

3年間の通いやすさを優先し、
進路を決めるのも一つの手。

◆ 生文高の活躍する先輩紹介

商業科進学ライセンスコース3年
家喜 大河 君(向陽台中学校出身)

全国受験者数 8,416名
合格者数 783名
合格率 9.3%

日本商工会議所主催
簿記検定1級合格!!



合格証書を受け取り喜ぶ家喜君と商業科香取先生

現役高校生で本校初の快挙!

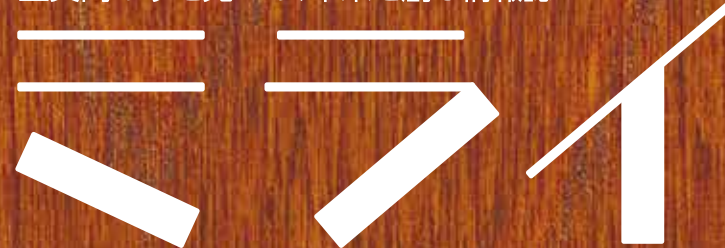
商業科教諭 香取先生

家喜君は、商業経済研究同好会に所属して部長として放課後は勿論、土曜・日曜日も学校に登校して資格取得・簿記の各種大会の学習に真剣に取り組んでおりました。また、下級生にもよく親切に教えている姿は本当に素晴らしいものがありました。

その成果として簿記の全国大会予選兼ねた県大会で、個人第1位・団体で第2位の結果を出し、個人・団体ともに全国大会に出場しました。特に団体では初めての全国大会のキップを勝ち取りました。その後、全国大会でも個人で優秀賞を頂きました。

資格取得では超難関である日本商工会議所主催の簿記検定試験1級(通称日商1級)に合格するという本校現役で初めての快挙を成し遂げてくれました。県内高校生での合格は家喜君だけです。

本人は今後、自分の夢を実現させるため専門学校へ進学して、本校卒業生が合格した公認会計士を目指して頑張るとのことですので、心から応援したいと思います。



2017
Vol.1

ひとりひとりに、ひとつの物語。大切な高校時代の1ページ。

特集

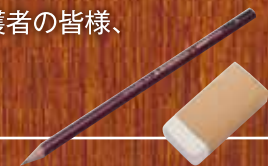
親と子が本音で語るスクールライフ

私が 生文高を 選んだ 理由

親と子と先生の絆メッセージ

「私たちの高校生活」

入学を決めた頃を振り返りながら、現在の高校生活を送る様子や目標などを、各学科の先輩とその保護者の皆様、そこに携わる先生方にお話しいただきました。それぞれの親子のストーリーをご覧ください。



ひとりひとりに、ひとつの物語。大切な高校時代の1ページ。

Story 1



真奈さん

夢が広がったこの3年間

私は看護師になることを目標としていたので、普通科進学コース理系に「看護探究」という魅力的な授業がある生文高を選びました。入学してから3年間の高校生活で感じたことは、先生方が分け隔てなく親身になって優しく接してくださる学校であるということ、そして何より「たくさんチャンスがあり成長できる学校」でもあるということです。私自身、生徒会長を任せられ、自分が大きく成長したと実感し、周りの皆さんにはとても感謝をしています。そして、進学コースは大半の人たちが部活動に励みながら、大学進学を決めており、ぐんぐん伸びる環境で、やる気を持たせてくれるコースだと思います。

将来は小児専門看護師になることが夢なので、大学入学後も勉学に励み、さらに上を目指して行きたいと思っています。

生徒:普通科 進学コース(3年) 畠山 真奈さん 名取第二中学校出身
保護者:畠山 直子 様
先生:特活部部长 小野寺 潤喜

お母様 成長した娘の姿に驚きの日々

正直にお話しさせていただくと、公立高校進学が親子共に第一希望でした。残念ながら受験に失敗し、生文高にお世話になることになったわけですが、最初は子どもが挫折感を引きずっていないか、それが親として入学時の心配でした。「どこで学ぶかよりも何を学ぶかが大事」と、周囲からお言葉をいただきながら子どもの高校生活が始まりました。あれから早いもので3年が経ちますが、今では本当に強い気持ちを持った子に成長してくれたと感じています。

その成長のきっかけとなったのは、生徒会長になった事だと思います。自分自身でも変わりたいと思ったのでしょう。生き生きと生徒会活動を頑張っていました。また、学習面では進学コース理系に進み、看護師の夢を実現するために大学進学を目指して頑張ってくれました。

私も縁あってPTA副会長をさせていただき、学校との接点が増え、学校の様子を知ることが出来る良い環境にありましたので、安心して先生方にお任せすることが出来ました。今では子どものやる気を伸ばしてくださった学校の先生方に感謝し、この高校に進学させて良かったと実感しております。



小野寺先生

感受性が強く情の厚い生徒会会長でした。学校を良くする可能性がある企画に触れた時には、今しか出来ないチャンスとして受け入れ実践してくれました。入学以来、学校での経験を糧に最も大きく強く成長した生徒だと確信しています。将来の目標を見据え、人の為に尽くせるのがこの子の大きな魅力ですね。未来の真奈さんがとても楽しみに思えます。

Story 2



海太さん

資格を大学進学に活かしたい

私が生文高に進学を決めた理由は、中学校時代にITパスポート試験に興味を持ち、高校在学中に取得したいと思った時に、「パソコンスピード王は君だ!」に参加して学校の設備などに魅力を感じたからです。資格や検定の勉強を先生方や先輩達がサポートしてくれること、勉強やそれ以外のことも聞きやすい環境にあるので、それがITパスポートや基本情報の取得に繋がりと、入学して良かったと感じています。

今は、日商簿記検定2級の取得に向けて毎日授業と放課後の勉強を頑張っています。今後は、情報処理、簿記の両方で全国大会に出場し、これまでに取った資格を大学進学に活かしたいと思っています。

生徒:商業科 進学ライセンスコース(2年) 高橋 海太さん 将監東中学校出身
保護者:高橋 紀子 様
先生:商業科教諭 藤澤 大輔

お母様 人間力を培い更なる飛躍に期待

入学当初は、義務教育という守られた環境から高校へと進学し、友達と仲良くできるか、途中で学校が嫌にならないか、自転車で約30分の通学も“大丈夫”とは思っても心配でした。今では、その心配、親の不安をよそに毎日楽しく通学をしてくれています。でも、恐らく嫌なことも時にはあったことでしょう。ただ、そんな様子も見せずに通学している子どもの姿に、身体だけでなく心も大きく成長したと頼もしさを感じています。また、志望校も有資格制度で受験できる大学を自分で探すなど、確かな目標を持ってくれていることもうれしく感じています。

これからの時代、就職活動、進学のいずれにせよ、有資格者が重要視されると思います。ですが、資格があるから仕事につけるというわけではありません。海太には、人として大切な事、約束を守る、思いやりを持つなど、いわゆる「人間力」も学んでもらい、学校にはそのような力を教えてくださることを心から望みます。

生文高は、ひとりひとりに合った環境を与えてくれるだけでなく、作ってくれる学校だと思います。親も一緒に成長でき、かつ子供もやりがいを持てる学校です。



藤澤先生

1年生のころから情報処理に強い関心を示し、授業中はもちろん、放課後も遅くまで残り学習に取り組み、本校初の1年生でITパスポートを取得することができました。その後も学習を続け、2年生の初めに基本情報技術者試験に合格し、情報処理の全国大会にも出場することができました。将来の教員になるという夢に向かって頑張っていくことでしょう。

Story 3



颯樹さん

チャレンジできる場がたくさんある

私は美術の勉強を高校で本格的に学びたいと思い、自由な校風や学校までの距離も近いこと、また学校推薦もあり生文高を選びました。周囲の友達のレベルの高さに刺激を受けたり、外部の専門の方の話を聞いたりする機会も数多くあり、入学して本当に良かったと思っています。1年生から自分のやりたいことを数多くチャレンジさせてくれる学科なので、枠にとらわれず、目標や夢に向かうために良い経験になることは積極的に取り組んで行きたいと思っています。今は、ダンスグループのPVを自主制作しており、美術領域以外のことにも興味を持って活動しています。

生徒:美術・デザイン科(1年) 栗崎 颯樹さん 宮城教育大学附属中学校出身
保護者:栗崎 美紀子 様
先生:1年1組 担任 長岡 貴史

お母様 枠にとらわれず多くの経験を

「絵の勉強ができる学校に行きたい。」と言われた時は、仙台にそんな高校があるのかな、と思いました。「デジタルなデザインだけではなく、ちゃんとデッサンから教えてくれるところが良い」というのが、親子共の希望でしたので、何校か見学会や、説明会に参加して生文高を選択しました。私立ということで多少躊躇する面はあったものの、校長先生の親身な態度のお話に温かいものを感じました。また、在校生の方々からは、東京の美大を目指しているということや、中学では辛かったがここでやりがいを見つけたことを聞き、生き生きと毎日楽しく学校に通えることは幸せなことだと感じました。これから息子にもそうあって欲しいと願っています。

美術・デザイン科は、映像分野の制作など、学校内にとどまらない経験の機会も与えていただき、自分で考えて行動することも学んでいるようです。アットホームな雰囲気があり、気さくに接してくださる先生方の指導も大きいと思います。

ざっくばらんに感じたことを書きましたが、息子もまだ1年生。たくさん夢を膨らませて枠にとらわれず、充実した高校生活になることを親として楽しみにしています。



長岡先生

颯樹くんは入学してから美術・デザイン科の映画講習会で、クラス企画映画の主演を演じました。映画の完成度も高く、そして物怖じしない彼の演技力に大変驚きました。様々な事に積極的に取り組み、生徒会総務委員、震災復興映画のスタッフ、他校のダンスPV制作など多岐にわたって活動してくれています。今後の更なる活躍が楽しみです。